

ウ佐渡 ヌメリヒユ 防州 イスヒヤウ 相州 ズンベラビヤウ 加州 ○

此草春ハナシ、夏ノ初子生ズ、莖ハ圓ニシテ赤ク、地ニ布テ直立セズ、葉兩對ス、形橢ニシテ厚ク、長さ五七分光リアリ、故ニ保昇ノ説ニ、此草ヨリ水銀ヲ取ルコトヲ云リ、

〔農業全書四〕 莧

莧種々數多し、二月に種子を下し、三月の末うゆべし、其色青きあり、赤き、紫、又まだらなるあり、料理には青きを用ゆべし、味もよし、是葉菜の絶間に盛長し、めづらしき物なり、七月以後は食するに宜しからず、種る事は四五月園の廻りにうへ、又は茄子のわきにうへて、同じくこゑを少用ゆれば、よくさかへしげりて、味もよく和らかなり、赤き莧は霜にあひて、色濃愛すべし、但此時は食味には用ひず、又瓜と莧と龜と、同じく食すれば、甚病を生ず、おなじ時分に多き物なれば、同食を慎むべし、馬齒莧とてあり、是莧の類にあらず、葉馬の齒のごとく、其性又莧に似たれば、馬齒莧と書り、和名すべりひゆと云意は、其性なめらかにして、莧に似たるゆへなり、其葉をすりて、腫物脛瘡にぬりてよく治す、茹てあへ物さしみなどに用ゆべし、脾胃よはき人には、よろしからず、

〔宜禁本草〕 乾 莧菜

甘寒無毒、人莧葉小、白莧葉大、赤莧莖葉俱赤、赤莧能療赤下、而不堪食、殺虫毒、

孟詵云、莧補氣除熱、人白二莧實主青盲白翳、明目除邪、利大小便、去寒熱、殺虻虫、霜後採、益精去肝風、

客熱、葉多食動氣煩悶、冷中損腹、與鱉同食生鱉瘻、赤莧根莖糟藏食之甚美、性微寒、故主血痢、

〔延喜式〕 三十九 內膳 供養雜莧

日別一斗、○中 莧四升、五六七八月

〔多識編〕 二 雞冠、今案登里佐久左、俗稱計士介、

〔書言字考〕 節用集 生植 雞冠草 俗云 雞頭花 雞頭花 雞冠 本名

〔大和本草〕 七 雞冠花 花紅白黃三色アリ品多シ、鮮紅ニシテ大ニ重ナル者上品ナリ、錦雞頭ト

雞冠